

東京の事務所に直接行って移管の話をずっとしていましたが、最終的には翌年の4月に倒産しました。破産管財人に、差し押さえている管理物件を全部解除してもらったり、国税が押さえているものも結構ありましたので、写真を撮って「こんな物件を差し押さえているんです。公共用地ですよ」って説明をしたりしましたね。

差し押さえられた物件の登記に関して、市ともかなり話はしまして、始めは出来ないと言われていましたが、最終的には国税が押さえたまま市に登記して、その後国税が差押えを解除する形で解決できました。

杉山さん 浄化槽を管理する資格までとられて、会社を運営するように浄化槽を守る。そこが自治会運営のスタートだったということですね。皆さんで砂に埋まった側溝を掃除するとか、浄化槽を大事にしたり、調整池を大事にするとか、苦労を共有することが自治会の結束になったと言えば簡単ですけど、ほんとに大変だったんだろうと思います。でも、それがあったからこそ今の東立沢の防災の意識とかに全部繋がっているんだなあと、本当に勉強になりました。ありがとうございました。結局そうやって自分の街を守っている人たちがいるっていうのが富里の自治会の特徴であります。

杉山さん では、七栄第三区の三浦さん。先ほどの両国の秋葉さんも商家のお生まれで今も電気屋さんをやられているんですが、三浦さんも商人魂の塊でスーパーマーケットから不動産へと営業する中身は変わりましたが、お客様とのお付き合いは変わらないですね。

三浦さん そうですね。鮮魚店の話は70年も前のことで、それから地元でスーパーをやって、その後、父親が不動産の仕事を始めました。職業柄というか内容によって差はあると思いますが、色々な仕事をやっていく中で、いろんな場面で富里の皆さんにお会いする縁がありますからね。今はインターネット

の社会ですが、それでも人と人とのご縁でご紹介していただくこともすごくあって、商売が変わっても同じことなのかなと思います。

杉山さん 自治会長になられてみていかがでしたか？

三浦さん 私の場合は、たまたま七栄第三区の区長をやらせていただいている感じです。2、3年前から「三浦よおー、そろそろ順番だからやるしかねえぞ」って言われていましたので（笑）。

杉山さん そういう年回りだからと（笑）。

三浦さん 防犯とか民生委員とかを前から色々やってきて自治会長になられた七栄第三区の先輩達とは違うし、区長にはなったものの、七栄第三区は広くて、大きな組織で中々理解できていないところがあります。

先ほど皆さんからお話がいったようにコロナ禍でイベントもできなかつたり、引き継ぎがうまくできないとか、これだけ大きくて世帯数のある七栄第三区でも皆さんと同じ課題があるなあと、次の方にどうやってバトンタッチしたらいいのかと思っています。

杉山さん 色んな問題は相談しながら解決できるけど、「会計の事をきっちりやり遂げるとというのが一番大変だ」と、ヒアリングの時におっしゃっていましたね。

三浦さん そうですね。山本自治会長のように団地の中で仕組みができていいる所はいいんですけど、七栄第三区は新興住宅地の方や代々からの農家の方とか色々な方がいて状況が違うのもありますね。集めたお金を間違いのないようにしっかり使って、またそれをちゃんと残して、バトンタッチしていかないといけないですから。

七栄第三区はありがたいことに何とか回っていけるだけのお金は集まっていると思うん

ですけれど、これは先輩たちがきちっとやられてきたからだと思います。

七栄第三区は副区長になった最初の仕事として会計をやるんです。外注は難しいとは思いますが、先ほどお話が出ていたように得意分野の方にご相談できる体制があれば、次にバトンタッチされた方が楽になるかなと思いますね。

杉山さん 制度まで行かなくても、銀行勤めだった方とか総務経験の方とかに力を借りないと中々難しいと。三浦さんは会社経営をされているから何とかできたけど、いきなり渡されてそういう経験が無い方は大変ですよ。

三浦さん 区費や墓地費の集金だけならまだいいですけど、役員をお願いすると、予算書、決算書まで作ってという会計処理をやってもらうことになりますのでね。

杉山さん お墓の管理もされているんですよ。

三浦さん そうですね。その他に、七栄第三区は七栄第一区から第六区で組織する七栄連合区にも入っていますから、私自身が大変だなというより、次の方に役員をお願いに行く時に気になることが会計処理のことですね。



管理の行き届いた『七栄霊園』

杉山さん 不動産事業をやっている方で、自治会長をやられているというのは、本当に申し訳ないのですが、私の大好きなんです（笑）。

こういう方にしか聞けない話がありまして、「自治会活動をやっているということが、不動産価値に影響を与えますか」という質問をさせていただきました。もう、これに対する回答が的確で、もう一度そのあたりのお話を伺ってもよろしいですか？

三浦さん 成田空港の開港前後から宅地開発が始まり、七栄第三区の中にも、大型の開発ではなく、数十件の分譲地内で道路が皆さんの所有になっている所があります。同じ規模の分譲地でも比較的声音を掛け合って草刈とか細かい事を大変ながらもまめにやっている団地の雰囲気と、中々できなくて手つかずになっているような所の雰囲気が道一本隔てただけなのに違うのを回覧配りの時に見て感じます。

月日を重ねて古くなるのは仕方がない事ですが、自治会がお声を掛けながらみんなで相談しながら、こじんまりでもやれている団地は、すごく価値が上がるという事ではないかもしれないけど、価値を維持できるということはあると思います。

杉山さん 自治会活動があって、きちんとご近所付き合いができている街は少なくとも価値は下がらないということですね。そういう話を伺って私も「あっ、そうなんだな」と、すごく勉強になりました。ご謙遜されていますけど、三浦さん達がプロデュースをされた七栄第三区の小さな開発の場所は、道路とのつなぎ方とか駐車場の取り方とか街の作り方が本当に豊かで、「ああ、これは引っ越してきた人は嬉しいだろうな」と思いました。

大きなデベロッパーがやる仕事とは違う地元の不動産屋さんが地元を大事にしながら再開発されている姿を拝見して心から尊敬させていただいています。ありがとうございます。

杉山さん それでは、最後になりますけれども、立沢台の山本さんの所はこの事業の最初に訪ねました。その時、非常に街が綺麗でごみ一つ落ちて

いなくて、雑草も生えていなかったんです。どうしたらこんな綺麗な街が維持できるんだろうと感動しながらお話を伺いました。

実は山本さんは、寝てないんじゃないかという噂が流れていて、夜は夜でゴミを拾って歩いているし、夜が明けたら一人で歩いているって噂が耳に入ってくるくらいで。

実はみんなで作っていると言いながら一人で頑張っている部分もたくさんおありなんだなと思いました。山本さん、なんで山本さんの街はそんなに綺麗なんですか？

山本さん 特に、自分がやっているわけではないんですけどもね。

杉山さん と、おっしゃるでしょ（笑）。

山本さん まあ、自分で気が付けばやりますけどね。今、お話がありましたが、団地の中を毎朝5時頃から歩くんです。もう4年半ぐらいになりますかね、一日も休まずに。自分の健康の為ですけど、全部歩いて大体45分くらい。

杉山さん 45分って結構な距離になりますよね。

山本さん そうですね。路地を全部歩いて問題ないかなと見ながら。

自治会長になって半年ぐらいたった頃ですかね、泥棒が入ったとか、刃物を持った男が出たって話がありまして、それからやるようになったんです。これは抑止力にもなるので、ベストを着て帽子をかぶってヘッドライトをつけて歩いているんです。

最近は何かあったという噂は聞かなくなりましたが、救急車が入ってくることが非常に多くなって今困っています。なにせ私が入ったのが昭和51年、26歳の時で今73歳ですから。皆さん年を取っていくわけですよ。今その対策を考えていますが、街を綺麗にしようという話は前々からあったんですよ。空き地の地主さんに年に一回

手紙を出して維持管理費をいただいて、共有施設として自治会で空き地を管理しているんです。年3回草刈りをやりますし、年2回の側溝清掃、調整池の泥上げとかもやるんです。そういうことを私が積極的に先頭になってやるとみんな一緒にやってくれるんです。

自治会長だからと言って皆さんにやってもらうのではなくて、「自分がやらなきゃ誰もついてこないよ」というのが私の元々の考えだったので、そういうやり方で今もやっていますけどね。

杉山さん 最初にヒアリングさせていただいた時はそんな話は一切なくて、「みんながやってくれるんだ」みたいな感じでしたけど、毎朝防犯のために歩いているなんて話は、実は、後で調査した中で出てきたお話で、言っている以上の事をされる方なんだな。実際そういう事もあるからこそ、色んな人が集まってワイワイ楽しくやれるということはあるんでしょうね。

浄化槽の跡地を市役所から買い取って公園にしちゃうというお話もありましたが、それはどうしてそんな話にまで結び付くんですか？

山本さん その土地は20年ぐらい前に市に寄付してしまっていて、それを他に売られてしまっただんな使い方をされるかわからないわけですよ。

杉山さん せっかく団地の中にある土地ですもんね。

山本さん そうですね。で、自治会で買おうということになって2年位前に手に入れたんです。公園にしようという話は、我々の子どもが住んでいた時代から、遊ぶ所が無くて自治会館脇の公園の水道で遊んでいたんです。ある時に子どもが水を出しっぱなしにするということで、役員が水道の蛇口を外しちゃったんです。そういう話を聞いていたので、ぜひ子どもたちの遊ぶ場所を作ってやりたくて。

団地の中には公園が3つあるんですが、全部市の公園で手を付けるわけにはいかないの、買い取った土地を自前の公園にしよう。それから、今はお年寄りがすごく多いので、ぜひ若い世代に住んでもらいたくて。それには子どもを遊ばせる場所が必要だろうと。子どもたちが遊べて、ここならいいなって思ってもらえる公園を作ろうという事で始まっています。全部で270坪程の土地で、まだ半分ぐらいですけど、60坪はみんなに手伝ってもらって駐車場にして、公園も全て手作りで、つい最近芝生を1,500枚ほど張りました。



子供たちが集う湧き水公園

杉山さん 私この話を聞いてぶっ飛びました。実際見学に行きましたが、これが谷津の田んぼビューというか、田んぼを借景にして素晴らしい農村公園みたいな。こんなテーマパークはどんなデベロッパーでも開発できないんじゃないかというような豊かな場所ですよ。ここ湧水が出てるんですよ。

山本さん そうですね。山の水が集まってきて湧き出ているんです。

杉山さん 水が出ることを逆手に取って水遊びの出来る場所にしようという。コンクリートを打つのが得意とか、配管が得意とか色んな方がいらっしゃるんですよ。そういう方々の力を借りてね。もうなんか、おじさんたちが子どもみたいに楽しそうに寄って集って作っているイメージですけど。

山本さん そうですね。皆さん一緒にやっていますね。下の田んぼの持ち主さんから、昔からここは水がなくて、農業用水を引くまでは、ここの湧水を田んぼに入れていて、水を取り合いしていたと聞いたので、ぜひこういう水を有効に使いたいなど。

杉山さん 昔は命の水だったわけですね。子どもの遊び場という形でこの団地の価値にし直すということですよ。

三浦さん そうですね。自治会活動が公園まで作っちゃって、自分たちの団地の家を若い人に買ってもらうという究極の跡取り作戦ですよ。

三浦さん そうですね。素晴らしいですよ。

杉山さん ちょっとびっくりですよ。こういう事が富里の事例の中にしれっと入ってくるというのがまた富里は凄いなど。山本さんが凄いていうのもあるんですけど。

滞納とか不在地主の問題でも努力があったんですよ。どこの自治会でも子どもが成長して一家で3台、4台の車があると路上駐車が増えてくる。一方で、空き地があってその草刈をしないとイケない。「あれっ、これは！」ってどこかで気付かれたんですよ。そのお話をさせていただいてもよろしいですか。

山本さん 実は、その話の空き地は私の家の前だったんです。そこを地主から借りていると言って駐車場代わりに使っていた人がいて手を付けられなかったんです。草が1mぐらいになっている時があって「こんな状態の所が何か所もあっては土地を売る時に資産価値が下がるぞ」って話になっていました。

ある時、その土地を相続された方に滞納分の請求書を送ったら、びっくりされて私の所に電話が来たので、実情をお話したら「ぜひ今日から使ってください」という話になって。私がお話を

借りて、草刈して車を止められるように整備もして、近所の皆さんに借りてもらいました。その駐車場代を今まで溜まっていた共有施設費に充当していると。そんなことをやっています。

杉山さん すごいアイデアと労力なんですけど、解決の方法が見えた時は「思いついちゃった！」って喜びはありましたか。

山本さん 所有者の方から「使ってください」と言われた時は「あっ、これでやっと周りからの苦情が解消される！」と思いましたね。そこを駐車場代わりに使っていた方にもお話をして、今は駐車場代を払ってもらっているんです。

杉山さん 丁寧に問題の本質をほどこいて、みんなの利益になるようにお金の流れを作って、そして、自治会としても滞納の課題、景観の問題も解決して、さらに駐車場問題も解決するという地域に住んでいないと出ないアイデアだし、努力できない方法ですよ。その時に出た言葉が「草ぼうぼうだと資産価値が下がる」という。さきほど三浦さんに説明して頂いた、「自治会活動を丁寧にやっていると少なくとも資産価値が下がらない」という話から、今度は公園を作って、子ども連れで家を買ってくれる人が出てくるようにという努力までするようになって。目的意識が資産価値を上げることにまで集約された自治会活動があったということに僕は度肝を抜かれたというか、富里は本当に凄いなと思いました。これがまた富里市内で伝播していくんだろうなと感動する事例でありました。

山本さん、ほんとは引越して出ていく予定だったのに自治会長をやるために戻ってきたってお話もありましたね。

山本さん 平成 29 年ですかね。この会場にいる三浦さんから市内の別の団地に家を買いました。いくつか荷物を運び始めた時に前の会長と現在の副会長が一緒に来て、「自治会長をやしてほしい。

何とかしてくれないか」と。これはもうしょうがないなと引越しをやめて、今その家は、娘と孫たちが住んでいます。そういうことで、ここに残ることになって今年目になりました。

杉山さん 凄いですね。いなくなるはずの人が自治会長をやって、事務員さんを雇って、経理の面倒とかは事務員さんに渡しながら、自分たちは色々夢が広がる公園作りとかをやるという理想的な活動をされていると思います。

山本さん 事務員の話ですけど、これは本当にずっと抱えていた問題なんです。役員をやる人がいなくなって。当時は 10 班から各 3 名の役員でしたが、今は回り番で 10 班から各班長 1 名で、三役も会則を変えて、推薦・立候補制にしたんです。今は全部で 13 名に減らしてその分で経験者 3 名に事務員としてパートで働いてもらうと。ほとんどの事をこの 3 名にやっていただいています。

杉山さん 経理とかも仕事としてやるとコツコツやり易いわけですよ。経験者の方にやっていただくというアイデア、役員の手当てを人件費にして雇う形で事務員を作るというアイデアですよ。これも、先ほどの経理が大変という話の解決方法の一つとして参考になりますね。こんな宝物のような事例が富里の中にはあるので、ぜひ学び合っていたいただければと思います。

竹下さんの所も中野さんの所も防災の話とかお祭りの話とかみんな仲良くやって面白い展開をしてくださっていて、すぐにでも参考になることがありますね。

僕が、木内さんのところにもう一回伺った時に「焼きそばを作る準備は、私、大好きよ！」っておっしゃって「そんな街のお祭りみたいな時に自治会館に一人暮らしのお年寄りを呼んでお泊り会でもしたら災害の時の避難の訓練になるね」とか、「そういう楽しいことと防災を結び付けたらどうですかね」なんて話もしましたね。

色んな活動が繋がって街の価値を上げる。
「災害の時にも安心だよ」ってことも、
「子どもが遊べる公園がありますよ」ってことも、
「草ぼうぼうの区画はありませんよ」ってことも、
「道を自分達で直しましたよ」ってことも、
みんなその街の価値を上げることに繋がる。
それをやってこられた方々のお話を伺えて、私は
本当に幸せなお仕事をさせてもらったと思います。
来年は、皆さんの地元でお祭りとかできるよう
なっていると思います。その時にちょこちょこ
遊びに来られるようでありたいなと思います。

最後に、山本さんの所の公園の動画があります
ので、スクリーンに映しますね。



子どもたちが湧水で楽しそうに遊ぶ動画

なんか、田んぼが見えて綺麗な湧水が流れている
水遊び場って、リゾートホテルでも実現しない
リゾートだなと思いますね。こういうアイデアが
富里全体の価値を上げていくというそんな未来が
見えるような気がして、最後に見ていただきました。

【第2部質疑応答】

杉山さん それではそろそろ終わりですが、先ほど、
市長と議長に御発言頂きましたが、山根副市長、
何か感じる事がございましたら一言頂ければ
と思います。副市長のお立場というよりは実際に
冊子やイベントを通してどんなことを感じられ
ましたか？

山根副市長 ほんとうに今日は素敵なお話ありが
とうございました。私自身今年で65歳になります。
私は、富里市内ではなくモノレールの走る若葉区
から通って3年になります。地元の自治会の活動に
まったく関与していなくて、今日のお話を聞いて、
自治会の活動は、そろそろ自分の番だなあと
思います。依頼があった時には消極的ではなくて、
積極的にやらせてくださいというような状態に
ならないとだめだなと。そして、山本さんの話に
あったようにただ散歩するのではなくて、地域が
どのようになっているのか、しっかり見て歩く
ようにしたいなど。いずれにしても、地元のことに
ついて深く関心をもっていかなければならないと、
この2時間の中で勉強させていただきました。
ありがとうございます。

杉山さん 大変謙虚なお話をさせていただいてあり
がとうございます。この9名の皆さんのインタビュー
の結果、副市長の地元の自治会活動の担い手が
一人増えて、富里のこの素晴らしい自治会運営の
エッセンスが飛び火するという事ですから、これは
これで凄く素敵なことだなと思います。

地方自治と言いますけれども、自治っていうのは
地方自治体と言われる市役所や役場のものでは
なくて、住民がその自治の主役なんですよね。
主権在民と憲法にも書いてありますけど、民主とは
民(たみ)が主(あるじ)と書きますから、皆さんが
主(あるじ)で皆さんが市役所を動かして、皆さんが
街を動かしていくという、経営者サイドです。
一方で、地元のことを経営しているという誇りも
もった自治会長さんたちがこの街全体の事を
考えると、正しい未来を作っていくことになる。
自治会長さんはその主体者なんだなと、私は強く
この事業で感じさせてもらいました。

この先も長く富里の勉強を続けさせていただこう
と思っておりますので、今後ともご指導宜しくお願
いいたします。本日は誠にありがとうございました。



富里市区長会
トークイベント記録集

編集・発行

富里市区長会

事務局

千葉県富里市七栄652番地1
(富里市役所市民活動推進課内)

電話 0476-93-1117

FAX 0476-93-4123

令和5年3月発行